

# 萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、こんにちは。7月に入りましたが、まだまだ梅雨の時期ですね。雨の日には出来ない仕事が多くなって、延期になる仕事が増えてきました。でも、雨の日に行くと養生の上で都合の良い施工（外壁洗浄等）もあるので、そちらにシフトしていこうと思って

います。こんな時期なので気分転換にお気に入りの長靴を新調した堀内貢次です。梅雨の時期に楽しむグッツを手に入れて、この1か月乗り切りましょう

## 18 回目の結婚記念日！

先月、18 回目の結婚記念日でした。お互い仕事忙しいのと、娘のテスト期間などが重なり 2 週間ほど日をずらして、行きつけのレストランで行いました。

お店を予約したときに、「何回目の結婚記念日ですか？」

と聞かれ、答えられなかったのが、大きな赤いハートの中に回数を表す数字が入っていません。最後にお店の方にネタばれされて、少し険悪なムードになりました。男は



記念日に疎いので私のようにならないよう注意して下さい。

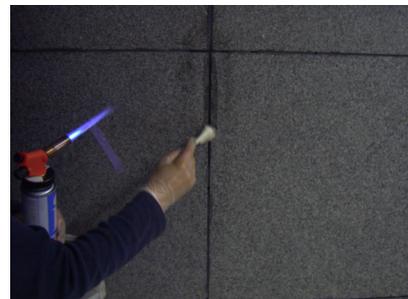
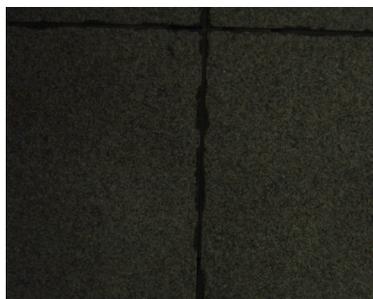
## シール汚れの除去

ビルのロビーに使われている御影石にシールがにじみ出てシミを作ってしまったようです。原因は、シールの硬化不良のようで、石の表面にまでシールがはみ出ています。

経年変化によるシールシミですと、油分が小口から入りこんで、石の回りに額縁状に濡れシミを作っているものは非常に抜きにくいのですが、今回の場合、石の表面に覆いかぶさるようにシールがのっているのが、まずは、石材の表面に付いているものをシンナーで除去していきます。

これだけでも大分表面のシミは取れてくるのですが、浸みこんだ油分が経年変化とともに表面に再発しないように、目地回り部分を油抜きしていきます。まずは、アルカリ洗剤で油を分解していきます。しばらくしてすすぎ洗いをして乾燥させるのですが、この時、火を使うと、浸みこんだ油分が、除去できたかがはっきり分かるので有効です。

石にしみ込んだものが純粋に油の成分ならば、炙ると焼けていきますが、不純物ですと焦げてきますので、トーチである程度判断が効きます。完成は右下のようになり



ました。後は再発しないか様子見です。追跡一週間後、一部再発部分の発見です。原因は、硬化不良のシールが面取り部分に残っていて、これを除去後には再発はありませんでした。



## 看板撤去後の清掃

築 50 年以上の建物に当時からあった看板を撤去した後の汚れやサビシミです。

壁面は、本磨きなので洗剤で、ある程度まで汚れは取れましたが、床面はアンカー跡やサビシミで洗浄してもなかなか綺麗に



ならないので、最後はサンダーで表面を削り、穴埋め補修をし、薄くまで仕上げることができました。

**編集後記** 先日、石材メンテナンス仲間と暑気払いも兼ねて一杯やりましたが、新しい仲間〇君が勉強熱心で、今後研磨技術が向上しそうな気配です。お楽しみに！！

萌黄通信 毎月 1 回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町 1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [kandsstg@jt4.so-net.ne.jp](mailto:kandsstg@jt4.so-net.ne.jp)